はるかぜにみ
のころやきと歌ひてゐる
五十年ぢまたたるる
ふゆごもりして
合て
にみ

幸一尾羽のとりかり
加賀の真砂 梅のくきにわり
羽ごきのふるき庵をとひまの
翌ては春方